

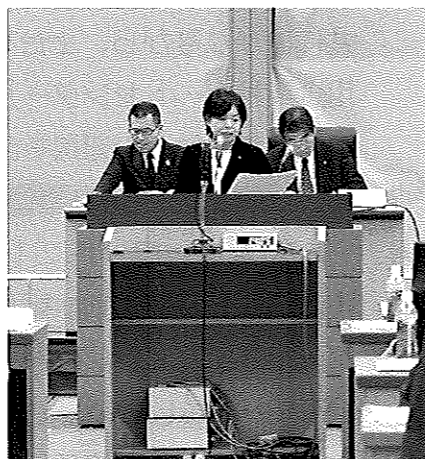
質問項目のみご報告いたします。後日、インターネット上にて関西広域連合の質疑が掲載されます。

京都府議会の質疑と同様に、ご高覧頂ければ幸いです。

①地震等による大規模災害に対する広域的な対応について

- 巨大地震や感染症発生に対処するための広域官民協働・官民連携について
- 広域帰宅困難者、観光客帰宅困難者対策について
- 関西統一のADAP作成と運用について

②関西観光・文化振興計画の見直し等について



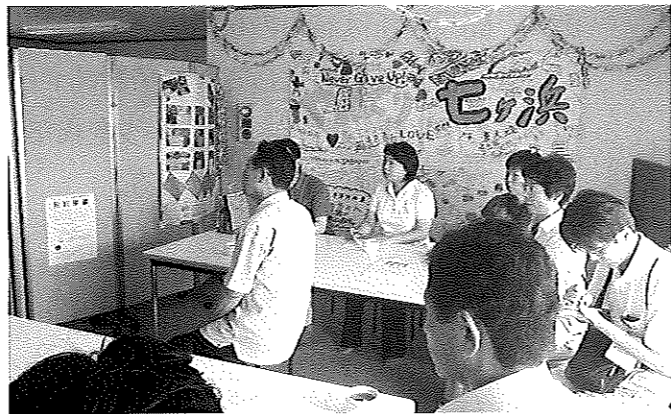
～関西広域連合議会にて～

京都府内外へ視察・現地調査に赴き、各施策に生かしました

※一部のご報告



2011.7.25～26 東日本大震災の被災地視察・調査(ビッグパレットふくしま、セケ浜町災害ボランティアセンター)



2013.7.25 京都市東山区「京都陶磁器会館」(京焼・清水焼産地の状況および地域振興)



2012.1.19 岡山県精神保健福祉センター(重度精神障害者の包括的市域生活支援)



2013.7.25 京都市東山区「京都陶磁器会館」(京焼・清水焼産地の状況および地域振興)



2014.1.20 熊本県立農業大学校(くまもと農業アカデミーの概要調査等)



2014.6.3 KTR「くろまつ号」(京都北部の観光振興、及び地域課題調査)

《SMILE》

スマイル

府議会議員北岡ちはる活動報告

2015.3.1 通巻No.-37

【北岡ちはる事務所】

京都市左京区北白川山田町10-1

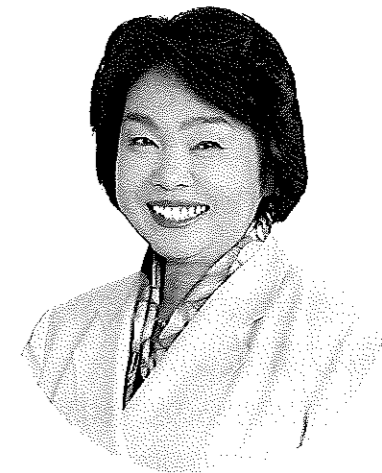
Tel 075-702-9400

Fax 075-723-6600

「感謝」

今任期もあと僅かとなりました。これまでの皆様方から賜りました温かい御支援に、改めて衷心より感謝申し上げます。これからも「大人も子どもも誰もが夢と希望をもてる優しい京都」「互いを認め合い、支え合う安心の京都」を築くために全力を尽くしてまいります。

皆様の御指導を心よりお願い申し上げます。



府議会議員

北岡 ちはる

～未来は子どもたちの中にある～

二月定例府議会(2015.2.13～3.13) ※会派の予算要望が数多く反映されました。

～平成27年度京都府一般会計予算及び平成26年度補正予算(14ヵ月予算)ほか、72議案を審議～

主な予算内容 (9,683億円規模) ※抜粋



(1) 重点分野

- ① **緊急防災対策** 三年連続で災害救助法適用となる大規模災害の発生を踏まえ、64億円規模
 - * 福知山市域特別治水等対策事業、由良川関連緊急治水対策事業、桂川関連緊急治水対策事業
 - * 南部地域緊急治水対策事業(南部豪雨・台風18号で被災した府河川整備、鴨川広域河川改修)
 - * 防災情報共有化対策(浸水や土砂災害など様々なハザード情報をGIS表示するシステムの構築)
- ② **緊急経済対策** 地域消費の刺激・生活支援策に加え、地域経済の活性化への取組を展開
 - * 商店街商品券、京野菜の販売促進、観光誘客の促進、高齢者の生活支援、「京もの祭」開催
 - * 琳派400年記念祭事業(「植物園de琳派」モダンアートプロジェクト他、オール京都で展開)
- ③ **未来への創生** 少子化対策や人・仕事・地域づくりに向け「京都ならではの」施策を展開
 - * 少子化総合戦略事業(第3子以降保育料無償化、中学校卒業までの医療費助成、婚活支援)
 - * 正規雇用3万人実現事業(府制度融資に非正規雇用者1名以上を正規雇用化した場合の優遇金利を設定⇒▲0.2%、大学生の早期インターンシップ制度の創設)
 - * 京都版エコノミック・ガーデニング事業 * 新たな生活文化を提案するクール京都事業
 - * きょうと未病改善センター(仮称)事業 * 未病⇒病気の手前の状態 * 300商店街活性化支援
 - * 農業フロンティア事業(借りたい人に農地が届いていない現状を打破)
 - * 府民交流施設整備(新総合資料館整備、植物園整備、H28～京都駅前に運転免許更新施設)
 - * 高齢者医療・介護特別強化事業(認知症の総合戦略、低所得者の介護保険料の負担軽減)
 - * 子どもの貧困対策事業(学校に関係機関の連携支援体制整備、学習支援と生活支援)
 - * 障害者の雇用と社会参加の促進(高等技術専門校にJPカレッジ障害者コースを実施)

(2) 新「明日の京都」の展開 中期計画・地域振興計画に基づき、新たな進展と展開を図る

- * 京都産業EMS推進事業 * 木質バイオマス発電構想策定 * メタンハイドレード開発促進調査
- その他、* 「京都府自殺対策に関する条例(案)」 * 府民満足最大化・京都力結集プランの取組

4年間で、7回の府議会質問(代表質問2回・一般質問5回)を行いました!

昨年12月議会の代表質問報告の概要(2014/12/4)

○地域力再生プロジェクト事業交付金の今後について

Q. 評価の高い地域力再生プロジェクトであるが、今後は持続性を考えた資金面での支援として、京都府が一定金額を拠出し、府内金融機関からも融資・出資を募り、府民力太陽光発電等の事業を実施し、その利益を地域力再生プロジェクト事業に持続的に拠出する仕組みが必要。

資金が府内で循環する仕組みづくりと、それを地域での活動に活かす仕掛けづくりが、次の地域力再生プロジェクトには必要な視点。

A. 様々な動きがある中で、基本的なところは、行政に頼らず独自の財源を涵養することにより、自律的な地域力再生を可能にすること。各地の取組みや地域ビジネス事業等、維持し支えていく、中間支援的な組織が重要であり、今後検討を進める。

○防災対策について

Q. 「災害からの安全な京都づくり条例(仮称)」の策定に向けた検討会議の結果や主な課題は。

A. 全面的に規制を行うよりも、ハザード情報を共有する中で、住民主導の体系がとれるようにすべき。浸水警戒区域等指定時の私権の制限や、各関係施設の義務付け、さらに土砂災害警戒区域等指定にかかる住民同意など、市町村や関係機関と十分協議をし、早期制定を目指す。

Q. 地域のネットワークづくりが重要であり、「要配慮者避難訓練」の実践拡大や人材確保策は。

A. 防災講習会やワークショップ形式の防災リーダー研修を実施中。地域で中核的役割のリーダー育成も条例に位置付ける。要配慮者避難訓練は22団体が実施し、さらなる拡充に努力。

Q. 官民が枠を超えて平素から顔を合わせ、互いの特性を知り、連携協力の結束点の模索が重要。

例えば、静岡県の「ワークショップ型図上訓練(頭で考える頭上訓練)」は効果的。

A. 現在、医療・建設など122団体等と協力協定を締結。京都府ボランティアセンターでの自主防災組織のリーダーなど、人材育成から民間協定まで、幅広く防災体制づくりに努める。

○雇用対策と安心して働ける環境づくりについて

Q. 安定した労働環境が整ってこそ、安心して産み育てられる社会が構築出来る。生活の安定のみならず少子化にも大きく影響を及ぼす就労形態の改善、とりわけ正規雇用を増やす本府の取組みと課題は。

A. 「量」に加え、「質」に重点を置き、「4年間で三万人の正規雇用創出」を目標に、新年度は九月末までに3,600人の正規雇用創出をしてきた。また、必要な財源獲得の為、知事会長としても国に要望。

Q. 職場でのマタニティー・ハラスメント対策は不可欠。これまでの京都府の対策は。

A. 対策として重要なのは、悪質な事例にはしっかりと法的対応をし、企業の意識改革や防止の取組み強化、相談体制の整備。各種労働セミナーの実施や「妊娠・育休トラブル電話相談」と連携した男女共同参画センターにおける労働相談の実施中。「輝く女性応援京都会議」でも、マタハラを許さない環境づくりを進め、対策をしっかりと検討する。

Q. 障害者雇用対策の評価と課題、今後の拡充策について

A. 京都府は法定雇用率を2%でなくて2.2%を目指す。「福祉から雇用応援事業」による就労層拡大やカウンセリング、マッチング、職業訓練、企業訪問等を実施。

Q. 京都市立総合支援学校の「デュアルシステム」を評価。府の特別支援学校における就労支援の充実と企業就労や社会参加を支援する取組みが必要。

A. 高等技術専門学校における長期訓練でも約9割が就職実現。課題は、障害の程度の重い方々に対して、伴走型支援を行い、JPカレッジによる就労のモチベーション、作業能力や社会適応能力の向上を共にはかりながら、土台をあげていくという作業と一緒にやっていく必要がある。また、「障害者雇用企業サポートセンター」を創設。

府市教育委員会の連携も含め、効果的な支援を行っていく。

○北山文化環境ゾーンの整備促進と機能強化・府立植物園の魅力づくりと整備促進

A. 「交流」をキーワードに「北山パートナーズ」を中心として、大学生も参画したソフト事業を一層充実。総合資料館跡地は、基本的には北山文化環境ゾーンのコンセプトにふさわしい施設を立地したい。平成28年度秋をターゲットイヤーとして設定。

A. 「日本一おもしろい、心やすらぐ植物園」を目指し、取組みを進めており、90周年入園者数90万人が視野に入ってきている。バックヤード全体の土地利用の見直しを進め、スペースを最大限に活かす。正門整備に着手し、植物殿堂機能を付加など更に努力すると共に、東門も整備。

○性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの設立について(来春設立にむけての準備状況)

A. 相談支援員の養成、研修を約60名対象に実施中。開設場所は詰めの検討中。

支援センターを中核として、医療機関や民間団体などの関係機関とネットワークを構築し、オール京都体制で取組みを進める。



2014年12月議会

2011年4月以降の議会質問項目

2011.12.7 ○これからの防災対策について

- * 男女共同参画の視点からの防災対策
- * 地域の防災力の向上
- * 男女共同参画の視点からの防災対策
- * 地域の防災力の向上
- 北山文化環境ゾーンの整備について
- 骨髄バンク事業の推進・強化について

2012.12.7 ○男女共同参画社会の推進について

- * 防災対策における女性の視点の尊重
- * ウーマノミクス(女性経済)について
- * 市町村における男女共同参画社会の取組

2013.6.27 ○「障害のある人もない人もともに安心して生き生きと暮らせる京都づくり条例」(仮称)について

- 子ども・子育て支援について
- 特殊詐欺の発生状況と被害防止対策について

2014.6.27 ○外国人留学生の支援について ○北山文化環境ゾーンにおける事業展開について

- 地域の防災力の向上について(*要配慮者避難訓練 *消防団活動支援と団員の確保策)
- 性暴力被害者のためのワンストップ支援センターについて

2012.9.24 ○京都府南部豪雨災害対策について

- 京都府の就業支援について
- 大学との連携による地域再生の取組
- 教育問題について
- * いじめ問題について
- * 学力向上と個別学習について

2013.12.9 ○「性暴力被害者のワンストップ支援センターについて」

- 父子家庭への支援について
- マタニティー・ハラスメントの実態とその支援について